

INOAC CORPORATION

CSR REPORT 2025

CSRレポート

INNOVATION & ACTION





INNOVATION & ACTION

企業理念

一本の大きな木を育てるより、
多くの個性ある木を育て、
美しい森をつくる。

イノアックは「暮らしをもっと豊かにしたい」という思いから、
ひとつの事業に特化することなく、
ウレタン・ゴム・プラスチック・複合材という4つの苗をもとに、
多くの事業(=木)を育て、企業体として多彩な製品、
サービスを作り出し、社会へ貢献してまいりました。
イノアックはこれからも多くの個性ある木を育てることで、
時代のニーズにお応えしていきます。

Contents

- 01 企業理念
- イントロダクション
- 02 イノアックのあゆみ
- 03 製品紹介
- 04 社長メッセージ
- 特集
- 08 イノアックと行く
素材で暮らしを豊かにするツアー
- 11 白馬村プロジェクトのイマ
- 12 100周年に向けて

環境

- 14 環境マネジメント
- 16 気候変動への取り組み
- 17 循環型社会への貢献
- 18 適正な化学物質などの管理
- 20 水リスクへの対応

社会

- 21 価値向上のために
- 26 価値向上を実践するヒトづくり
- 34 サプライチェーンマネジメント
- 36 社会とのコミュニケーション

ガバナンス

- 37 コーポレートガバナンス
- 38 コンプライアンス
- 40 情報セキュリティ

データ集

- 42 ESGデータ集
- 46 会社概要

編集方針

◎報告期間
本報告書は株式会社イノアックグループに
おける2024年度(2024年1月1日～12月31日)
の活動実績をもとに作成しています
※2023年度とそれ以前、2025年度の内容
も一部含む

◎対象範囲
株式会社イノアックコーポレーション単体
の活動を中心に、一部国内外イノアック
グループ会社を含む

◎参考としたガイドライン
GRIスタンダード

発行年月:2025年10月

問い合わせ先

株式会社 **イノアック コーポレーション**

経営企画本部 広報部

〒141-0032 東京都品川区大崎二丁目9番3号 大崎ウエストシティビル4階
TEL : 03-6680-8168 E-mail : csr@inoac.co.jp URL : <https://www.inoac.co.jp/>



イノアックのあゆみ

快適な暮らしと持続可能な社会のために 発泡技術のリーディングカンパニーとして成長

1926年の創業以来、日本初のウレタンフォームの生産をはじめ、人々の暮らしを豊かにする多彩な製品、サービスを作り出してまいりました。イノアックの成長は、開発の歴史でもあります。新しい用途への応用を数多く生み出すとともに、特に近年では環境への配慮を重視した開発を常に心がけて、人と地球の未来のために挑戦を続けています。

事業発展の歴史 | Business Development History

<ul style="list-style-type: none"> ●「井上ゴム工業株式会社」の前身である「井上護謨製造所」を名古屋市熱田区に設立(1926年) ●IRCブランドのタイヤ・チューブの輸出を開始 ●ドイツよりウレタンフォームの技術を導入(1954年) ●「エム・デー・ピー化成株式会社」を設立 ●寝装品・育児用品分野へ進出 ●スリランカに海外初の合併会社、「ASSOCIATED RUBBER INDUSTRIES LTD.」を設立 ●自動車部品事業へ進出 	<ul style="list-style-type: none"> ●配管材分野へ進出 ●生活用品分野へ進出 ●家具分野へ進出 ●物流資材分野へ進出 ●粒材分野へ本格的に進出 ●東南アジアへの進出を本格化 	<ul style="list-style-type: none"> ●「井上エムデーピー株式会社」を設立(1980年) ●グループの統一ブランド「INOAC」誕生(1980年) ●建材分野へ進出 ●OA機器分野へ進出 ●包装材分野へ進出 ●アメリカへの進出を本格化 	<ul style="list-style-type: none"> ●「株式会社イノアックコーポレーション」へ社名変更(1990年) ●福祉・介護用品分野へ進出 ●中国への進出を本格化 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境事業分野へ進出 ●東南アジア拠点の強化および拡張 ●一般財団法人「ポリウレタン国際技術振興財団」を設立 	<ul style="list-style-type: none"> ●ウレタンフォーム生産開始60周年を記念して、「ポリウレタン国際フォーラム2015」を開催 ●グループ初の沖縄の会社として「株式会社イノアック琉球」を設立 	<ul style="list-style-type: none"> ●愛知県名古屋市に神野R&Dセンターを設立 ●名古屋本社を増築し新社屋を設立 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国の事業所内を中心に寝具などの直営ショップをオープン ●「ポリウレタン国際フォーラム2023」を開催 ●垂井工場生産開始
---	---	---	--	--	--	---	--



製品開発の歴史 | Product Development History

<ul style="list-style-type: none"> ●日本で初めてウレタンフォームを生産開始 ●カラーフォームマットレスの販売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●LPGタンカー・新幹線車両の現場施工での断熱工事を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●インジェクションブロー工法と加飾技術による化粧品容器の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●インモールドコート(二層)一体成形インパネを開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●道路建設現場での現場発泡ウレタン軽量盛土工法(R-PUR工法)を開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に配慮した連続気泡微細セルポリオレフィンフォーム「MAPS」を生産 	<ul style="list-style-type: none"> ●超臨界発泡法を使用したクリーンな長尺ポリオレフィンフォーム「FOLEC」を生産 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に配慮した超微細セル無黄変薄物長尺シート「PureCell」を生産 	<ul style="list-style-type: none"> ●植物由来のポリウレタンフォーム「ECOCECEL」を開発 	<ul style="list-style-type: none"> ●高性能複合断熱材の「フレキシブルエアロゲル」を開発
--	--	--	---	---	--	--	--	---	--

製品紹介

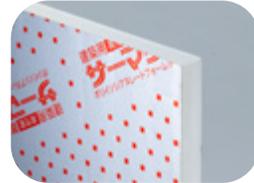
今もこれからも、豊かな暮らしのすぐそばに

家庭内での生活用品や介護用品、日常的に使うIT機器から工場などの産業機械に。住宅・建築の資材や土木の現場にも。自動車などの乗り物やインフラの設備にまで。イノアックの素材は姿を変えて、街のあらゆる場面に溶け込み、さまざまなフィールドで人々の快適な生活を支えています。



ポリウレタンフォーム

ポリウレタンフォームは、弾力性と軽量性を兼ね備えた発泡素材です。輸送機器やインフラなどの工業用途はもちろんのこと、寝具や靴のインソールなど、幅広い分野で快適な暮らしに貢献しています。



サーマックス

サーマックスは建築用の高性能難燃断熱ボードです。断熱性・難燃性・防水性・遮熱性に優れ、環境に配慮したノンフロンという特徴を備えた次世代の断熱材で、住宅や建築用途に使われます。



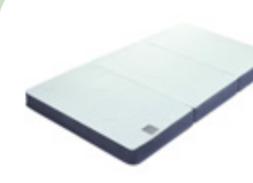
SlimFlex

高密度で、極めて微細、かつ均一なセル構造を有した高機能ウレタンフォームです。他の発泡素材に比べ、へたりにくいためスマートフォンのような防塵・防水機能を要する電子機器などのシール材として幅広く使用されています。



樹脂ボトル

PET樹脂、PP樹脂を使用したインジェクションブロー成形による機能性ボトルです。化粧品容器や、食品・飲料用ボトルのほか、それぞれの充填内容物に応じた自社規格ボトルを提供しています。



カラーフォーム

カラーフォームは日本で初めてウレタンフォームのマットレスを生産したイノアックの寝具ブランドです。素材の開発・性能評価・商品化まで自社で一貫して行い、60年以上にわたり人々の眠りを支え続けています。



シートクッション

配合技術および成型技術により、柔軟性・耐久性・通気性・振動吸収性を制御し、快適な座り心地を実現します。また、軽量化と環境性能の両立により、今後のモータリゼーションに大きく貢献していきます。



アームレスト

アームレストは乗員の肘を乗せて腕や肩の緊張を緩和、負担を軽減し快適性を提供します。一部の製品には、ウレタンフォームの端材を粉砕し、接着剤と混ぜて成形した「ミクセル」が使用されています。



リアスポイラー

車両後方上部に取り付けられ、走行時の空気の流れを整えることで、走行安定性向上や燃費改善に貢献する部品です。多様な成形法により、意匠性・部品構造・空力性能などさまざまなニーズに対応可能です。



バイク・自転車・車いす用タイヤ

高いグリップ力と耐久性を兼ね備え、オンロード・オフロード問わず安定した走行性能と快適な乗り心地を提供します。車いす用タイヤでは一般的なものから競技用タイヤまで幅広くラインナップしています。



フォームライトW

フォームライトWは、発泡ウレタンを使った軽量盛土工法で、傾斜地や低地にも対応。複雑な空間に充填でき、構造安定性を高めます。能登半島地震で被災した「のと里山海道」の復旧にも活用されました。



変化の時代に 揺るがない軸をもって

—「素材で暮らしを豊かにする」という使命のもと、
持続可能な成長を目指して—

株式会社イノアックコーポレーション

代表取締役社長 野村 泰

2025年も変わらず、世界は大きな変化の渦中にあります。地政学的リスクの高まり、経済政策の転換、そしてESGを巡る議論の変化など、表面的には激動の時代と言えるでしょう。しかし、常々申し上げているように、こうした表面的な変化に流されることのないよう、私たちには「ぶれない軸」が必要です。

イノアックグループにとってのぶれない軸、それはパーパスとして掲げている「素材で暮らしを豊かにする」という使命です。この軸がある限り、どのような変化が起ころうとも、私たちには進むべき道が見えてきます。なぜなら、生活の在り方が変わっても、人々の暮らしは必ず存在し、そこには常に豊かさを求める気持ちがあるからです。

創業から約100年、私たちは素材を通じて人々の暮らしに貢献してまいりました。そして今、2030年に向けた中長期経営計画の折り返し地点を迎え、次の100年に向けた基盤づくりの重要な時期に差し掛かっています。

「INOAC2030」の進捗と今後の展開

中長期経営計画「INOAC2030」の推進において、私たちはこれまでに重要な成果をあげてまいりました。最も大きな変化は、社内組織の刷新です。自動車事業、産業資材事業をコア事業とし、リビング事業、建材事業を戦略事業として位置づけ、4つの事業軸を明確にしました。この枠組みは順調に機能し始めており、各事業の特性に応じた戦略展開が可能となりました。

また、社内の雰囲気づくりにも力を入れてまいりました。「明るく、楽しく、元気よく」を合言葉に、さまざまなコミュニケーションの場を設けています。特に、2024年から始まったコミュニケーション活性化施策「しゃべくりINOAC」では、経営陣が各拠点を訪問し、若手からベテランまで、さまざまな立場の社員との対話を重ねています。現場の生の声を聞くことで、組織全体の活性化につなげています。

一方で、課題も明確になってきました。最も大きな課題は、「場当たり的」な思考からの脱却です。私たちは製造業として、常に本質をとらえる思考が必要です。それは「市場を知る・敵を知る・自分を知る」という基本に立ち返ることから始まります。例えば、営業活動において、市場のニーズを十分に把握せず、競合他社の動向を軽視し、自社の強みを過信する。このような場当たり的な判断では、持続的な成長は望めません。私たちには、物事の本質を追究し、QC的なものの見方・考え方に基づいた意思決定が求められています。

製造業の本質「買う・つくる・売る」の追究

製造業であるイノアックグループの本質は、「買う・つくる・売る」のバランスにあります。かつては「つくれば売れる」時代もありましたが、現在は原料価格の高騰と売価の下落という厳しい環境にあります。この状況を乗り越えるためには、特に「つくる」の部分を強化していく必要があります。

私たちの考える「つくる」には、3つの意味があります。1つ目は「創る」、すなわち新しいものや市場のニーズに合ったものを創造する開発力。2つ目は「造る」、何をどこでどのようにつくるかという生産技術力。そして3つ目は「作る」、実際にモノを作り上げる製造力です。

この3つの「つくる」をバランス良く強化することで、単に安い材料を買って高く売るといった従来のビジネスモデルから脱却し、真の付加価値を創出していきます。付加価値とは「形を変える」ことです。原材料に私たちの技術と知恵を加えて形を変え、お客さまに喜んでいただける製品として提供する。これが製造業としての使命であり、私たちの競争力の源泉なのです。

「快適」をキーワードとした事業展開

「素材で暮らしを豊かにする」を実現するため、私たちは「快適」をキーワードとして事業を展開しています。快適とは何か。それは音の静寂、振動の軽減、

熱の遮断、正しい姿勢の維持、美しい見栄え、そして何より安心・安全な環境の提供です。

例えば、私たちの主力製品であるマットレス「カラーフォーム ファセット」は、六角形のスリットにより寝返りを打ちやすくし、快適な睡眠姿勢を実現します。また、自動車用の吸音材やシートのクッションは、車内の快適性向上に貢献しています。さらに、電動車の普及にともない、バッテリー用断熱材やセル間クッションなど、新たな快適性を支える製品の開発も進めています。

重要なのは、快適の定義が地域や文化によって異



社長メッセージ

なることです。例えば、ベトナムの方々が求めるマットレスの硬さと、日本人が求める寝心地の良さは大きく異なります。私たちは「現地現物」の考え方にに基づき、それぞれの市場のニーズを的確にとらえ、私たちの配合技術を活かして最適な製品を提供していきます。

私たちの技術体系を整理し、音、振動、熱、姿勢、見栄え、安心・安全、そして脱炭素といった快適につながる要素を軸として、体系的なブランド戦略を構築していきます。これにより、お客さまに対してよりわかりやすく、私たちの価値を伝えることができるでしょう。



ヒトの力を伸ばす取り組み

事業を支えるのは「ヒト」です。私たちは「コミュニケーションのスタートは聞くことから」という方針のもと、人材の採用、育成、そして組織力の向上に取り組んでいます。

グローバルに事業を展開する私たちにとって、海外で活躍できる人材の育成は喫緊の課題です。トレーニー制度では、若手社員を海外拠点に派遣し、現地での実務経験を通じてグローバル人材として成長させています。成功事例として、トレーニーを経験した社員が帰国後にさらにスキルを向上させ、再び海外駐在として活躍している例があります。一方で、トレーニー後のフォローアップが不十分で離職に至る失敗事例もあり、キャリアプランの提示と継続的な支援の重要性を痛感しています。

国内では「一枚岩合宿」という経営幹部に向けた3日間の研修を実施しています。これは単なる研修ではなく、参加者が自分の生い立ちから価値観まですべてをさらけ出し、お互いを深く理解し合う場です。この合宿の真の価値は終了後にあります。参加者同士が自主的に相互研鑽会を開催し、事業部の垣根を越えた交流が生まれています。こうした横のつながりの強化が、組織全体の一体感醸成につながっています。

基礎研究・専門性教育の見直しも進めています。これまでOJTに依存しがちだった教育体系を見直し、階層別教育を明確にし、社員一人ひとりのキャリア形成を支援しています。

サステナビリティへの取り組み

サステナビリティ、そして人権やダイバーシティ & インクルージョンの本質は「思いやり」にあると考えています。環境を思いやり、同僚を思いやり、地域社会を思いやる。この思いやりの心があってこそ、真のサステナビリティが実現できるのです。

環境面では、私の直下にサステナビリティ推進室を設置し、2026年度から経営方針に「環境」を追加します。2030年までに2013年度比でCO₂排出量を半減するという意欲的な目標に向け、各部門が連携して取り組んでいます。カーボンニュートラル委員会の中に、エネルギー部会、原料部会など専門分科会を設け、具体的な削減活動を推進しています。

重要なのは、形式的な取り組みではなく、本質的な成果を追求することです。単に蛍光灯を消すといった小さな積み重ねだけでなく、事業活動全体を通じて持続可能な価値創出を目指しています。脱炭素化事業の創出・拡大、環境技術・リサイクル事業の推進など、事業を通じた持続可能性の実現に取り組んでいます。

サプライチェーンにおける人権・環境配慮も重要な課題です。グローバルに「安く安定的に調達する」ためには、お取引先さまとの信頼関係が不可欠です。サプライヤー CSR ガイドラインの配布や、サステナビリティアンケートの実施を通じて、サプライチェーン全体での責任ある調達を推進しています。

社長メッセージ

100周年に向けた展望

創業から約100年を迎えようとする今、私たちは次の100年に向けた基盤づくりの重要な時期にあります。現在、売上の3分の2を海外が占める私たちにとって、グローバル展開は単なる選択肢ではなく、必然です。

海外展開における最も重要な考え方は、日本的な価値観を押し付けるのではなく、現地の文化を尊重し、現地の人材が主役となって事業を展開することです。私たち日本人駐在員の役割は、サポートに徹することです。各国・地域の特性を理解し、そこに住む人々の暮らしを豊かにするために、私たちの素材技術をどう活かすかを現地の仲間とともに考えていきます。

東南アジア各国を見ても、タイ・インドネシア・ベトナム・マレーシア・フィリピンなど、それぞれ異なる経済情勢と文化的背景があります。地産地消の考え方にに基づき、現地のニーズに合わせた製品を、現地で調達した原料で製造し、現地の人々に届ける。このモデルを確立することで、真の意味での持続可能なグローバル事業を実現していきます。

「素材で暮らしを豊かにする」使命を果たし続けます

変化の激しい時代だからこそ、私たちは原点に立ち返る必要があります。「素材で暮らしを豊かにする」という精神、これが私たちの揺るぎない軸です。

この軸に基づき、常に本質を追究し、思いやりの心をもって事業に取り組んでまいります。

製造業として「買う・つくる・売る」のバランスを保ち、3つの「つくる」を強化していく。快適をキーワードとした価値創出により、お客さまの暮らしを豊かにする。グローバルに活躍する人材を育成し、一枚岩となった組織力で課題に立ち向かう。そして、持続可能な社会の実現に向けて、環境と人権に配慮した事業活動を推進する。

これらすべてが、100周年という節目を迎える私たちの使命であり、次の100年に向けた責任でもあります。ステークホルダーの皆さまとともに、イノアックグループは「素材で暮らしを豊かにする」使命を果たし続けてまいります。

私たちの挑戦は始まったばかりです。変化を恐れず、本質を見失うことなく、思いやりの心をもって前進してまいります。皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



野村 泰 (のむら・やすし)

- 1985年 3月 井上エムティーピー
(現イノアックコーポレーション) 入社
- 1991年 2月 北米駐在
- 2004年 2月 自動車関連事業部 技術部長
- 2007年 10月 自動車関連事業部 品質保証本部長
- 2008年 10月 東北イノアック 代表取締役社長
- 2011年 5月 自動車関連事業部統括 (タイ駐在)
- 2015年 2月 専務執行役員
自動車関連事業本部 本部長
- 2018年 4月 取締役
- 2019年 4月 常務取締役
- 2022年 4月 代表取締役社長 (現職)